

特定課題等に対する取り組み

令和3年度下半期（令和4年2月28日まで）における三重県議会の取り組みをご紹介します。上半期の取り組みは、みえ県議会新聞NO.1に掲載していますので、三重県議会ホームページ等からご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に対する三重県議会の取り組み

新型コロナウイルス感染症対策のための補正予算等を迅速に審議・可決

三重県議会では、県が行う新型コロナウイルス感染症対策が適切かつ迅速に遂行されるよう、「緊急会議」等を開催して県の取り組みを確認し、予算の先議を行うなど、迅速な審議に努めています。

〔令和3年定例会〕

第4回緊急会議（8月3日）補正予算 約39億円

・新型コロナウイルスワクチンの個別接種や職域接種のさらなる促進のための経費等

第6回緊急会議（8月27日）補正予算 約94億円

・「三重県緊急事態措置」による時短要請等への協力金等

第7回緊急会議（9月22日）補正予算 約84億円

・「三重県緊急事態措置」の延長に伴う時短要請等への協力金

令和3年9月定例会会議 補正予算 約24億円

・「三重県リバウンド阻止重点期間」における時短要請への協力金

・県独自の時短要請や消費者の外出控え等の影響を受けた事業者への支援金

令和3年11月定例会会議 補正予算 約71億円

・臨時応急処置施設の整備などの更なる医療提供体制の整備等にかかる経費

・国の「ワクチン・検査パッケージ制度」をふまえた無料検査を実施、自宅療養者等への医療提供を充実させるための経費等

〔令和4年定例会〕

第1回緊急会議（2月10日）補正予算 約73億円

・「三重県まん延防止等重点措置」による時短要請等への協力金

令和4年2月定例会月会議 補正予算 約214億円（先議分）

・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策や観光需要の喚起策、事業継続の支援などの取り組みを進めるための経費等

・「三重県まん延防止等重点措置」による時短要請等の延長に伴う協力金の増額

・まん延防止等重点措置に伴う経済活動の停滞等による影響で売上が減少した事業者への支援金

令和3年定例会での主な取り組み

- 新型コロナ関連予算の迅速な審議
- 新型コロナに関する代表質問・一般質問
- Web会議システムやタブレット等を利用したオンライン会議の実施



補正予算の採決の様子（12月23日）

三重県議会は、新型コロナウイルス感染症の収束に向け、県議会としての役割をしっかりと果たしていきます。

差別解消を目指す条例検討調査特別委員会の活動状況

本委員会では、さまざまな差別の解消に向けた条例の在り方として、既存の「人権が尊重される三重をつくる条例」の全部改正を行うことを決定し、その方針に沿って条例案の検討を進めてきました。そして、令和4年1月に条例案の中間案を取りまとめ、パブリックコメントを行いました。

条例案の中間案には、次のような内容を盛り込んでいます。

- 条例の目的として、不当な差別などの人権問題のない、人権が尊重される社会の実現を図ることを掲げています。
- 「不当な差別」や「人権侵害行為」などの定義を設けています。
- 基本理念として、不当な差別をはじめとする人権侵害行為の禁止について定めています。
- 県や県民、事業者の責務を定めるほか、プロバイダ等や県の公務員の責務を定めています。
- 不当な差別などの人権問題の解消に向けて、相談体制や紛争の解決を図るための体制の整備について定めています。
- 人権教育・人権啓発など、不当な差別などの人権問題を解消するための基本的施策について定めています。

平成9年
制定

人権が尊重される三重をつくる条例



不当な差別などの
解消に向けて規定
を大幅に拡充!

本委員会で制定を目指す条例案

花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会の活動状況

本委員会は、アフターコロナを見通し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を進めています。

令和3年11月4日に花や木に関する法律等の調査を行うとともに、12月7日に市場関係者から花き市場の状況について、学識経験者から花や木の持つ効用等について、それぞれ聴き取りを行いました。また、12月21日に執行部（県土整備部）からの意見聴取を

行うとともに、条例案の方向性についての協議を行いました。

さらに、令和4年2月15日に条例案の方向性について各委員の意見をもとに協議を行い、2月22日には、富山県における花と緑の県づくりについて、Web会議システムを利用した調査を行いました。



Web調査の様子（2月22日）

スマート議会の在り方検討プロジェクト会議の活動状況

議会のスマート化について検討を行うため、令和3年3月、議会改革推進会議の下に「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」を設置し、令和4年2月までに8回の会議を開催しました。

8月以降の会議はWeb会議形式により開催し、委員がオンラインで参加することで、実際に生じた事例から課題や改善点等について検証を行いました。

また、議事のスマート化についても検討を行い、貸与タブレット型端末機への資料送付

等については、議会改革推進会議を通じて代表者会議に提案し、議会運営委員会での申し合わせの改正を経て、11月定例会議から議場における映写資料等をタブレットで閲覧することができるようになりました。

今後はオンラインによる委員会開催のマニュアル等の作成や資料閲覧システムの検証に取り組む予定です。



三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議の活動状況

三重県議会議員の政治倫理に関する課題について検討を行うため、令和3年6月、議会改革推進会議の下に「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」を設置し、令和4年2月までに7回の会議を開催しました。

この会議では、全ての会派で構成される委員により、政治倫理に関する条例の運用面での課題などについて議論を行っています。

主な課題として、議員の行為規範となる政治倫理規程に人権侵害に関する規定を追加

すること、政治倫理審査会を公開で開催すること、議長が講じる措置の種類を明確にすることなどについて検討結果をとりまとめました。

今後は、現行の政治倫理に関する条例の改正や、条例の逐条解説の作成などについて検討を行うことが見込まれています。



プロジェクト会議の様子（12月22日）

県政運営の基本となる中・長期計画を調査

令和4年定例会2月定例会月会議より、県政運営の方向性を示す、「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」、「みえ元気プラン（仮称）」について調査等を行っています。

■ 強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）

2030年頃の三重の姿を展望し、政策展開の方向性や県政運営のおおむね10年先を見据えた基本姿勢を示す、令和4（2022）年度からの県の長期ビジョンです。

■ みえ元気プラン（仮称）

「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」が掲げる基本理念「強じて多様な魅力あふれる『美し国』」の実現に向けて推進する取組内容をまとめた、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度までの5年間の中期の戦略計画です。

〔調査の経過・予定〕

2月14日、2月17日に開催された全員協議会では、執行部より「強じんな美し国ビジョンみえ（仮称）」、「みえ元気プラン（仮称）」の概要案が説明され、質疑を行いました。今後は、3月の行政部門別常任委員会にて詳細な審査・調査を行い、4月の全員協議会における最終案の説明等を経て、6月定例会月会議に議案として提出され、審議を行う予定です。



全員協議会の様子（2月17日）